

平成30年第10回大川市教育委員会（定例会）会議録

平成30年8月8日、大川市役所第2委員会室において、平成30年第10回教育委員会（定例会）を開催した。出席者及び会議の経過並びに結果は次のとおりである。

1. 開会及び閉会に関する事項

開会 15時00分
閉会 16時10分

2. 出席委員の氏名

教育長 記伊 哲也
委員 谷川 朋昭
委員 一ノ瀬直子
委員 蔵本美保子
委員 恵崎 浩則

3. 欠席委員

なし

4. 事務局等の出席者

学校教育課長	石橋 正隆
学校教育課主幹	古賀美保理
生涯学習課長	永尾龍之介
学校教育課長補佐	本田 龍雄
生涯学習課長補佐	岡 美詠子
記録者・学校教育課総務係	永島 潤一

5. 傍聴者

なし

6. 付議案件

報告事項

- (1) 臨時職員等の任用について
- (2) 平成30年度市立図書館要覧について
- (3) 統合中学校施設建設事業について

7. 教育長の挨拶の要旨

今年は暑い日が続いているが、中学校には空調設備が整っていないため、生徒は厳しい状況で学習しており、保護者からもクレームが入っている。今は、夏休みの期間中だが、部活動において熱中症で搬送される事例があり、「そこまで練習をしなければならないのか」という意見もいただいている。

文科省は、暑さ対策として夏休みの延長を推奨しているが、授業時数が確保できなくなり、「学力向上」、「夏休みは延長」、「働き方改革の推進」等と矛盾点がある。

今年から8月13～15日を「学校閉庁日」と設定した。昨年までは教職員が出校していたが、無人になる。他にはフレックスタイムの導入がある。朝の涼しい時間（7時半）から始

業し、夕方16時には帰校するスタイルをとっている。

7月30日の有明沿岸道路の筑後川橋の1/2連結式が台風12号の影響で中止となり、大野島小学校の子どもたちが練習に励んでいた「大川市歌」の合唱の機会がなくなった。11月の大川音楽祭に向けて古賀政男先生の「青春サイクリング」を練習していたところを、先生作曲の市歌に変更することになり、大変嬉しく思っている。

西日本豪雨では、教職員・市職員が災害発生の直前まで業務に従事し、帰宅できなかった者がいたようであった。県外からの教職員は帰宅が困難となり、鳥栖からの通勤している市職員も、徒歩で6時間かかったとのこと。子どもたちはもちろんであるが、職員の安全も確保する必要がある。緊急災害時には管理職が早めの帰宅を促すなどの配慮と危機管理を要すると考えている。

教員採用試験が終了し、小学校の倍率は1.3倍であった。試験業者のアルバイトの姿も見受けられ、これではほとんどが一次試験を通過するものと見られている。中学校は4.6倍でほぼ例年どおり。来年採用される教職員は、採用後、学校でのOJT等を用いて育成していくしかないということであった。

人権問題に関して、市長へのメールが届いている。「同和教育はもう終わった。必要がないものをいつまで続けるのか」という悪質な内容であった。まだまだ根強い差別が残っていると感じている。

8. 議事の概要

報告事項	(1) 臨時職員等の任用について
委員	前々回会議で、ふれあいの家の空調機更新工事の議題があったが、暑い盛りに空調が使用できない中、宿泊された利用者はどのような状況であったか。
事務局	今年度、空調機を更新する予定であったが、6月に完全に故障した。利用者には大変ご迷惑をおかけしたが、工事を前倒しし、7月20日から稼働している。21日・22日に久留米市からミニバスケットボールの宿泊予約が入っていた。男子は予定通り宿泊されたが、女子は体力面を考慮して事前にキャンセルとなり、空調機の故障を原因とするキャンセルは、結果的に2件であった。
報告事項	(2) 平成30年度市立図書館要覧について
委員	Webilis(ウェブアイリス)とは何か。
事務局	図書館内の本を管理するシステムで、以前も同様のシステムを運用していた。利用者はインターネットで貸し出しの予約ができるが、今回の変更点は、出版社・作者・ページ数・出版年数などより多くの情報を掲載することが可能となった。また、発行されてからの期間、貸し出されてからの期間などを選択して予約することが可能など充実した仕様となった。
委員	夜7時までの開館延長は、その後どのような状況か。
事務局	開館延長は、広く市民に周知ができていると考える。最近は7時でも明るいこともあり、お子さんの姿も見られる。8時や9時までの開館は、費用対効果の面から考えて難しい。

報告事項	(3) 統合中学校施設建設事業について
委員	「共同企業体」とは何か。
事務局	一企業では受注できないと判断した大規模な工事において、相応の企業体を作るために設定するものである。異種複数の企業が出資して一時的に大きな企業を作り、出資率に基づき収益を分け合う。大川市でJVが始まったのは、下水道事業に着手する際、市内企業に下水道工事のノウハウがなかったため、市外の企業が参加し共同体をつくったことにある。
教育長	「JV」は「ジョイント・ベンチャー」という意味である。給食センター建設時はどうであったか。
事務局	「JV」の請負もあった。
その他	暑さ対策のための「夏休みの延長、授業の短縮」について
教育長	大川市では夏休みの延長はしない考えである。管内では唯一、中学校に空調設備が整備されていない。新しく導入する「暑さ指数検知器」の基準による授業時数の短縮について、意見をいただきたい。
委員	教職員について、夏季にフレックスタイムを導入した話もあったが、1時間早めて始業する等の対応を考えているか。
教育長	朝早く授業が始まると、午前中が5時間授業となり、空腹にもなる。幾分授業時数が確保できるが、基本的に校時は学校長判断であるため、一つの案として提案したい。
委員	登校するまでは1日授業の予定でも、暑さ指数の状況によっては変わるということか。
教育長	小学校の低学年については、急な変更に対応できない等の問題があるが、中学校にはその心配はないと思う。
事務局	小学校は空調があるため、中学校についての対応策である。小学校に適応することも考えられるが、学童保育所との連携も必要になる。
教育長	小学校は空調を設置し、夏休みを短縮していることも有り、また、保護者からすれば早く帰宅した児童を誰が見るのかという問題もある。
委員	中学校は部活動があるため、仮に午前中で授業を終了した場合、部活動も中止になるか。
教育長	一旦下校して、部活動のために出てくることは基本的にない。

委員	当面、夏季の部活動はないのか。
教育長	部活動は教育課程外であり、学校長の判断によるところもある。あくまでも教育委員会としては31度を超える状況での部活動は禁止する。
委員	帽子も被らずに徒歩で登校する児童も多い。午前中で下校することとなれば、その時間帯が最も気温が高くないか。
教育長	登下校の対応については特に指示をしていない。小学校には空調があり、中学校では温度が高い教室にいるより、家にいる方が安全と考える。
委員	中学校は空調が無く、非常に厳しい暑さである。あと1ヶ月で涼しくはなってくるだろうが、スポットクーラーの設置は考えているか。また、レンタルの検討はできないか。
事務局	これから設置の準備にかかっても、使用できる期間は来年の夏のみである。レンタル業者も必要台数は用意できないだろうと考えている。また、空調設備の導入費用は7割が設置工事にかかる経費で、使用しなくなれば工事費用は損失となる。
教育長	校長会では、これ以上授業時数をカットすることはできないという本音が出たが、「授業時数が足りなかった」より「事故がなくてよかった」という話にもなった。授業時数が不足することについて、県あてに顛末書を提出すればいいことで、子どもたちの安全が最優先である。